第1回九州沖縄芸術祭

芥川也寸志
新交響楽団演奏会

久保陽子協演

1969. 10. 27(月)PM. 6:30　熊本市民会館

11. 2(日)PM. 6:30　福岡市民会館

プログラム

Ⅰ　「こうもり」序曲　　J・シュトラウス

「こうもり」はワルツ王J・シュトラウスの傑作オペレッタで、仮装舞踏会のこうもりの衣装のまま寝込んでしまったファルケ博士が、友人たちに陽気な仇討ちをするという物語です。ウインナワルツやハンガリー舞曲を接続曲ふうに束ねたのがこの有名な序曲です。

Ⅱ　バイオリン協奏曲 ニ長調 作品55　　チャイコフスキー

（バイオリン　久保陽子）

第1楽章　　アレグロ・モデラート

第2楽章　　カツオネッタ・アンダンテ

第3楽章　　フィナーレ：アレグロ・ビバッチシモ

1878年チャイコフスキー38歳のときの作曲。絢爛華麗な技巧に満ち、ロマンティックな情緒が濃い作品ですが、ロシヤ民謡や舞曲を加えてロシヤのローカル・カラーを出しています。哀愁を帯びた旋律をうたいあげたところはチャイコフスキー独特の美しさが感じられます。

Ⅲ　交響曲第9番 ホ短調「新世界」作品95　　ドボルザーク

第1楽章

第2楽章

第3楽章

第4楽章

ドボルザークは1892年から1895年までニュヨークの音楽学校長としてアメリカに滞在しましたがホ短調交響曲はこの間に作曲され1893年末、彼が52歳のときニューヨーク・フィルハーモニーによって初演されました。ドボルザークの故郷であるボヘミアの音楽と織りまざったのがこの交響曲の特徴といえましょう。アメリカのニグロやインデアンの民族音楽が前半の二楽章はボヘミアの民族音楽が基調となっています。

＜常任指揮者……芥川也寸志＞



1925　東京に生れる

1949　東京音楽学校研究科作曲部卒業。ピアノを井口基成、指揮を金子登、作曲を橋本国彦、伊福部昭に師事する

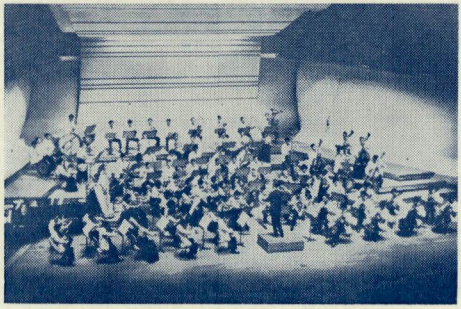
1956 ～ 新交響楽団設立いらい常任指揮者となり10年にわたりアマチュア交響楽団の指導育成にあたっている。

バイオリン……＜久保陽子＞



1934・11　奄美大島に生れる
1950　上京、村上信吉に師事
1960　第29回音楽コンクールにおいて第2位特賞を受く
1962　第2回チャイコフスキー国際音楽コンクールに日本代表として出場第3位入賞
1994　パガニーニ国際音楽コンクール第2位入賞
1967　スイスのヨゼフ・シゲティ氏に師事、イタリークルチ財国主催第1回国際音楽コンクールで1位入賞

＜新交響楽団＞



1956・1　新交響楽団発足
1966・3～新交響楽協会設立しいらい全国各地で演奏活動をつづける。

新交響楽団は社会人、学生からなるユニークなシンフォニーオーケストラで、過去の実績を土台に、未知の分野にいどもうとしている。

主催　財団法人　九州沖縄文化協会
　　九州各県・北九州市・琉球政府
　　九州各県教育委員会・北九州市教育委員会

後援　文化庁